

(公社)徳島県労働者福祉協議会

中央LSCニュース

発行：徳島中央ライフサポートセンター (LSC)

発行責任者：川西 貞之

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

TEL 088-623-4105 FAX 088-678-4177

[http:// chuo-lsc.main.jp/](http://chuo-lsc.main.jp/)

「キウイ収穫体験祭り」報告

と き 2016年11月12日(土) 11時から

と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」

参加者数 144名(幼児、スタッフ含む)

【概要】



「県民と働く者のとくしまフェスタ 2016」の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月12日(木)から10月14日(金)まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ135グループ343名の応募がありました。10月20日(木)厳正な抽選を行い134名の当選者を決定しました。

11月12日(土)の当日は、3回目の開催にして初めて晴天に恵まれ、144名(幼児、スタッフ含む)と多くの方が参加されました。

オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「3回目にしてようやく晴れた日の開催となりました。キウイ園の上のほうまで行って心置きなくかご一杯にキウイを採ってください。ただ、怪我をしないように。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。

参加者の皆さんは、大きなキウイや沢山生っているキウイの木の下へ、小さな子どもも保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを採っていました。籠が一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人も。

収穫体験の後には、スピードくじでの抽選会、空くじなしではあるが大人も子どもも1等賞が当たると「やったー。」と大満足。

また、オーナーの方が、地元で取れた椎茸、ネギ、みかんなどを直売しており、新鮮な農産物を安く購入し、参加者の方々は大いに満足された様子でした。

部落解放・人権徳島地方研究集会反差別研修(沖縄)報告

期 間：2016年11月3日(木)～11月5日(土)

と ころ：沖縄県

報告者：杉本 友好

第1日目(11月3日)・・・連合大城沖縄会長による講演から研修が始まった。

講演概略

『これまで、連合本体の方針に従い、沖縄の基地問題は、本心では「撤去」と思っているが、普段、東京などでお話をする時は「整理縮小」と表現している』連合の中でも日本(ヤマト)で話をするときには気を遣っている。沖縄に基地が集中している理由は、沖縄に対する差別が根幹にある。60年、70年安保の時代、日本を取り巻く国際情勢は、当時の日本の中で、沖縄だけが、基地誘致という負担をかけてもいい存在。すなわち、日本(ヤマト)のために沖縄県民を犠牲にしても平気だった。

日本は現在、先般の大阪府警の若い機動隊員による「土人」「シナ人」発言に象徴されるように、右傾化が進んでいる。長年にわたる日本政府の政策によって、沖縄は日本（大和民族）の経済、日米安保のために犠牲になってきた。本土の人々から差別され続けていたのである。

沖縄の基地問題は、場所の問題だけではなく、日本政府による差別の実態が、根本にあるのである。

2日目（11月4日）…沖縄戦線をめぐるフィールドワーク

アメリカ軍（連合軍）が沖縄に上陸してからの激しい戦闘のあった6つのポイントを時系列に見学

①宜野湾市嘉数（かかず）高台

オスプレイが並んだ普天間基地を見学した。

②那覇新都心地区シュガーローフ



シュガーローフは「慶良間チーズ」と呼ばれる丘の米軍側の呼称。首里の日本軍司令部を守る最後のとりでと位置付けられ、1945年5月12日から18日まで、日米が激しい攻防を繰り返した。米軍はこの一帯で死傷者2662人と、極度の精神疲労者1289人を出した。

③那覇市首里32軍司令部

大戦末期、沖縄本島に司令部を置き奄美群島から先島諸島をその守備範囲としてアメリカ軍（連合軍）の上陸に備えるために32軍司令部が編成された。首里城の地下に大規模な地下壕が掘られ、連合軍の進軍に備えた。反転攻勢のため、総攻撃を試みるがあえなく失敗。悲惨な結果となった。



④ひめゆりの塔

「塔」という、響きからもっと大きなものを想像していたが、現物を見て、その小さな姿に驚いた。建てられた当時は米軍の統治下にあったこと、物資に恵まれなかったことなどもあり、こういう姿になったのだという。自然にできた鍾乳洞「（沖縄の方言で）がま」に追い込まれた子どもたち。



当時アメリカ人のことは鬼と教えられ（鬼畜米英）、捕虜になると、切り裂かれ、女性は辱めを受けるとされていた。捕まれば、親や親戚に顔向けできないとのことから、まだ年端もいかない子どもたちは、「がま」から出て行かなかった（教育の恐ろしさを改めて感じた）。米軍はその「がま」へ黄燐手榴弾（爆発せずに可燃性のガスを発する）を

投げ入れ、子どもたちは苦しみながら亡くなっていった。

⑤魂魄の塔 沖縄県で最初に建てられた慰霊碑。

⑥平和記念資料館

ここでは、沖縄戦の悲惨さを模型や実物、映像などで体験でき、研修2日間で見聞したことを整理して見せてくれた。「平和の礎」（慰霊碑）、この沖縄戦で犠牲になった約24万人の名前が刻まれている。ここでも世界の恒久平和を願い、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで犠牲になった全ての人々の氏名が都道府県別にならんでいた。



■暮らしなんでも無料相談■

専門のアドバイザーと連携して、あなたの暮らしを応援します！

ひとりで悩まないで、一緒に解決の糸口を見つけましょう！

◇法律相談 ◇一般相談 ◇金融・保険相談 ◇労働相談 など

TEL 088-623-4105（徳島中央ライフサポートセンター）

専門のアドバイザーと連携して
あなたの暮らしを
応援します
088-623-4105

法律相談
借金相談
生活相談
労働相談